

## 会 議 録

会議名	令和2年度 第1回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	令和2年8月4日(火) 13:00~15:00
開催場所	丸亀市役所 本館5階第3・4会議室
出席者	<p><u>出席委員</u> 岩永十紀子、鹿子嶋仁、佐藤友光子、高濱和則、井上達也、嵯峨根真千子</p> <p><u>事務局</u> 市長公室長 横田拓也 (市長公室秘書政策課) 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 宇野大志郎、主任 大川智</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度外部評価結果への対応について</li> <li>2. 令和2年度外部評価、評価事業の選定について</li> <li>3. その他</li> </ol>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>定刻が参りましたので、ただ今より丸亀市行政評価委員会を開会いたします。会長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきます秘書政策課の窪田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>まず、行政評価委員会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、順に委嘱状をお受け取りくださいますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">&lt;横田市長公室長より各委員に委嘱状の交付&gt; &lt;各委員自己紹介&gt; &lt;事務局自己紹介&gt;</p>
窪田課長	<p>以上のメンバーで行政評価委員会を進めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。次に、本日配布いたしました会議資料のご確認をお願いいたします。</p> <p>続いて、会長、副会長の選任に移ります。丸亀市附属機関設置条例第6条第1項に、「附属機関に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める」とあります。いかがいたしましょうか。</p>
岩永委員	事務局の考えはありますか。
窪田課長	<p>事務局としましては、会長は鹿子嶋委員、副会長は高濱委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;異議なし&gt;</p> <p>鹿子嶋委員、高濱委員におかれましては、ご了承いただけますでしょうか。</p>

	<p>&lt;両委員了承&gt;</p> <p>それでは、鹿子嶋会長、高濱副会長よろしくお願ひいたします。 では、改めまして会長、副会長より一言ずつ、ご挨拶をお願ひいたします。</p> <p>&lt;会長、副会長挨拶&gt;</p>
窪田課長	<p>ありがとうございました。それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条に基づきまして、会長に議長を引き継ぎますので、よろしくお願ひいたします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、早速進めさせていただきます。議事に入ります前に、現在6名の委員のうち全員ご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>では、議事の1「令和元年度外部評価結果への対応について」事務局の説明をお願ひします。</p>
宇野	<p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p>
高濱副会長	<p>事業の方向性の評価結果そのものに対して、それぞれの担当部署がどう対応していくかという回答は、もう少し具体的な内容がないと、この委員会で評価したことが生きてきません。</p> <p>また、コロナ前提でない予算事業があると思いますが、コロナ禍を踏まえた中で、各事業の位置付けを見直す必要があります。どうしてもやらないといけない項目があれば加えるなど、メリハリをつけた予算編成を考えていただきたいと思います。例えば、「スポーツを通じたにぎわいづくりの推進」であれば、コロナ禍で人を集められないという状況のなかで、予算があるからやむを得ず実施するようなことはいけません。</p>
鹿子嶋会長	<p>コロナ禍という特殊な緊急事態に、限られた予算をどう配分するかは大きな問題です。今回の外部評価とコロナの関係を事務局としてどう考えていますか。</p>
窪田課長	<p>状況に応じた対応ということで、コロナ禍をどう踏まえて行くか、収束が見込めず難しい状況です。ただ今説明しました所管課の対応は、前回の外部評価結果を受けて、予算編成に取り組んだ経緯や、今後どう対応していくかについてお示しており、コロナの状況以前の内容となっています。コロナに応じた対応を官民あげて取り組む必要がありますので、外部評価につきましても、コロナ禍の状況を踏まえたうえでのご意見もいただければと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>他になければ、議事の2「令和2年度外部評価」につきまして、事務局より説明</p>

	をお願いします。
宇野	<資料に基づき説明>
佐藤委員	過去に評価して除外している事業は、何年くらい前のものになりますか。
宇野	概ね過去5年程度になります。外部評価は平成20年度から実施しており、過去に同じ事業を評価したこともあります。
鹿子嶋会長	まず、最初のカテゴリーの「Ⅰ 心豊かな子どもが育つ」ですが、「学校給食による食育の充実」は決算額が少額で、給食費公会計の導入で仕組みも大きく変わるので、評価がしづらいように思います。
窪田課長	給食費の仕組みや食材の調達など、事業が大きく変わる過渡期にあつて、令和元年度の取組をもとに、今後の学校給食による食育のあり方について審議いただければと思います。
高濱副会長	食育そのものが重要なことは認識していますが、例えば定量的な数字など、どのような基準で評価するのかが分かりにくいです。
鹿子嶋会長	過渡期で新しい取組がなされる中では、評価のタイミングが違うように思います。
窪田課長	確かに時期的な問題はありますので、他の事業も含めてご検討いただければと思います。
井上委員	食材調達もするとなれば、事業そのものが様変わりしますし、そうなりますと評価ではなく提案がメインになってしまいます。 評価は、令和元年度の取組状況だけを見れば良いですか。
宇野	今年度評価していただく令和元年度事業の評価結果を令和3年度予算の編成に活かしていきます。
井上委員	令和元年度決算以外に、ここ数年の推移も評価するうえで必要です。
宇野	評価事業が決まりましたら、まずは、事務局で資料を準備しますので、不足するものがあればお知らせいただければと思います。
鹿子嶋会長	最初のカテゴリーの「Ⅰ 心豊かな子どもが育つ」の評価事業は少し置いて、先に進めます。次の「Ⅱ 安心して暮らせる」の「離島における生活環境の向上」は

	いかがですか。
高濱副会長	丸亀市は島がいくつありますか。また、人口の自然減の状況はどうですか。
谷本副課長	本島、広島、牛島、手島、小手島の有人5島になります。
宇野	島しょ部は自然減の傾向です。丸亀市全体としては、自然減を社会増で補っている状況です。
岩永委員	学校はどのような状況ですか。
谷本副課長	本島は小中学校、小手島に中学校、広島は休校という状況です。
佐藤委員	移住者は増えていますか。
宇野	一桁の推移ですが、島への移住者は増えています。
鹿子嶋会長	島があることは市の特性でもあります。それでは、他にご意見がなければ、評価事業として決定します。次に、「Ⅲ 活力みなぎる」の「中心市街地の活性化」はいかがですか。
高濱副会長	活性化に向けて何十年と取り組んでいますが、思うようには進んでいません。
佐藤委員	新しい飲食店が出店するなど、商店街がにわかに賑わってきている気がしますが、何か要因はありますか。
宇野	一つは、ホテルの出店の影響があると思います。また、リノベーションまちづくりの流れもあり、ゲストハウスも新たに出来ています。
鹿子嶋会長	コロナ禍では、人を集めずに活力を向上させる視点が必要であり、中小企業の事業継続も大きな課題となっています。一方で、これまで様々な取組がなされてきていると思いますので、具体的に示していただければ評価が可能だと思います。他になければ、評価事業として決定します。次に、「Ⅳ 健康に暮らせる」の「一般介護予防事業の充実」はいかがですか。
高濱副会長	65歳以上の高齢者には、団塊の世代も含まれますが、元気な方も多いです。ターゲット領域として人数が多いことはポイントで、成果指標の体操参加者の状況も含めて、どういったサービスを実施すべきか、改善する余地があると思います。
鹿子嶋会長	どこの自治体もですが、高齢化には真正面から取り組む必要があります。

岩永委員	<p>コロナ禍もあって、ヘルパーも在宅に入りにくい状況で、この点は事業者も真剣に考えています。医療・介護クラウドシステムに関連して、インターネットを通じての遠隔医療や介護サービスなど、新しい時代への移行に向けた検討ができる契機にはなると思います。</p>
高濱副会長	<p>WEBでの医療・介護環境に投資するとして、その利用者が一人欠け、二人欠け、という状況になってくるとその価値も問われますので、市がどのような方向に向いて取り組んでいくかの確認も必要です。WEB活用は一つの姿としては素晴らしいですが、何割の人が使うのかという点も含めて検討することが必要で、一足飛びにはいけない面もあり、現在取り組むべきものとしてフィットするのかどうか考えることが必要です。</p>
嵯峨根委員	<p>「一般介護予防事業の充実」のように、地域でどうやってお年寄りを見守っていくかという点を検証するのは良いと思います。</p>
岩永委員	<p>具体的にどのような取組をしていますか。</p>
窪田課長	<p>まず、「医療・介護連携事業」は平成27年度よりシステムを導入して取り組んでいます。利用が進んでいない状況があるため、取組状況を見ていただいて審議していただければと考え、提案しました。一般介護予防事業は、要介護にならないための予防事業で、長生き体操などの普及促進、体力づくりや居場所づくりに取り組んでいます。</p>
鹿子嶋会長	<p>予算額も大きいですし、どのように使われているかなど審議できるかと思えます。他になければ、評価事業として決定します。次に、「V みんなでつくる」の「性的少数者の人権対策」はいかがですか。</p>
嵯峨根委員	<p>私個人としてアンガーマネジメントをライフワークとしており、人権課の「DVなどの根絶」が気になります。どのような取組を進めているか、市のイメージにも関わります。</p>
岩永委員	<p>担当課は違いますが、子育て支援課の「DV及び児童虐待防止の推進」は評価した経緯があります。</p>
谷本副課長	<p>相談業務など現場の対応は子育て支援課で、全体的な啓発を人権課が担当しています。</p>
岩永委員	<p>自治会が結成しにくい状況下で、「コミュニティ活動の活性化と自治会加入促進」はどうか。</p>

佐藤委員	自治会加入率は悪化しています。
鹿子嶋会長	予算額も大きいようです。
宇野	市内のコミュニティに対する補助金がメインになります。
窪田課長	コミュニティに対する支援と、自治会運営などを支援する経費となっています。
鹿子嶋会長	それでは、意見が分かれておりますので、多数決で決めたいと思います。（「コミュニティ活動の活性化と自治会加入促進」に決定） 最後に、改めて「I 心豊かな子どもが育つ」に戻ります。
岩永委員	「青い鳥教室の充実」や「小中・地域連携教育の推進」はどうか。
宇野	「青い鳥教室の充実」の事業費は、運営費のほか施設整備費も含まれています。
岩永委員	「小中・地域連携教育の推進」は2つの課が担当していますが、どちらかになりますか。
窪田課長	両方とも評価していただきたいと思います。
鹿子嶋会長	それでは、こちらも多数決を取ります。（「小中・地域連携教育の推進」に決定） 以上で、議案については終了しました。その他で、事務局より何かありますか。
宇野	<今後の日程等について説明>
鹿子嶋会長	それでは、本日の会議を終了します。
	(会議終了)